

2 第 68 回近畿放送教育研究大会・第 69 回近畿学校視聴覚教育研究大会奈良大会参加報告

- (1) 日時 令和元年 11 月 21 日から令和元年 11 月 22 日
- (2) 場所 奈良市立伏見南小学校・奈良市西部公民館
- (3) 内容

会場校の伏見南小学校は、児童用にタブレット端末 40 台を配置して主に教室で活用し、その 40 台とは別に、コンピュータ教室に児童用のノート型パソコンを 40 台配置してプログラミング学習やインターネットなどによる調べ学習などに役立てている。また、各教室に大型テレビと実物投影機が整備されていた。

1 年生「ひきざん」(算数科)、4 年生「マット・跳び箱」(体育科)、6 年生「My Best Memory」(外国語活動)、特別支援学級「交流会を開こう」(自立活動)の 4 つが授業公開された。

1 年生ではグループで作った引き算の問題をタブレット端末で撮影し全体発表の場で活用したり、6 年生では、

「Google 翻訳」のアプリを使って自分が作った英文が正しく話せているか確かめたりしていた。また、パソコン室には、プログラミング教材(Micro:bit)を使った実践が紹介されており、来年度に向けた準備が進んでいることが伺えた。4 年生では、授業の導入で「NHK for school」の「はりきり体育ノ介」をグループごとで視聴していた。



資料 1 パソコン室の様子



資料 2 引き算の問題場面をタブレット PC で撮影【1 年：算数】



資料 3 全体発表の様子【1 年：算数】



資料 4 Micro:bit を使った実践例



資料 5 「Google 翻訳」の活用【6 年：外国語】



資料 6 【4 年：体育】

研究実践交流会では、メディア部会に参加して和歌山県及び奈良県の発表をもとに話し合った。奈良県かつらぎ町では、(株)ソフトバンクの社会貢献事業の採択を受け、ヒト型ロボット「Pepper」を用いたプログラミング学習が行われていた。また、奈良県の発表では 3 年生「こん虫のかんさつ」で「NHK for school」の「ものすごい図鑑」を終末に活用して、学習の振り返りを行っていた。

午後からは奈良市西部公民館に移動し、NHK エデュケーショナルこども幼児部、笹山麻衣氏による「こどもの考え方を育てるヒント～Eテレ「ピタゴラスイッチ」を例に～」という講演があった。